

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

平成28年3月9日 第2,361回 No. 2,122号

会長：夏目 潔 ・ 幹事：佐藤 忠幸 ・ 会員サービス委員長：柳澤 幸一

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ロータリーソング》

- 奉仕の理想

《会 長 報 告》

- みなさん、こんにちは。みなさんは東京の青山表参道の交差点よりすぐ近くに青山善光寺があることをご存知ですか？青山善光寺は善光寺大本願の別院であります。慶長六年（1601年）に徳川三代将軍家光の勧請を受け、大本願第百九世の円誉智慶上人が江戸谷中に別院のような感じで開きました。その後、元禄年間に火事にあい宝永二年（1705年）に青山百人町に土地を拝領して移転しました。これが現在も東京の港区にある青山善光寺です。この時の住職は大本願第百十二世智善上人で青山善光寺では中興開山と仰いでいます。その後、善光寺大本願上人が兼務することになりました。現在は違います。私も最近知ったのですが、徳川時代には「お礼年」と称して、三年に一度上人が将軍家一門の方々にご挨拶の為登城される例があり、諸大名の参勤交代と同じように信州の本寺と青山善光寺とを交互に住み替えなくてはなりません。とは言え、実際には多額な費用と日数が必要となるため、十年以上江戸にお暮らしになり、ごく稀にしか信州の本寺に帰られなかった時代もありました。何か恣意的なものも感じますが？この頃から百三十年間、上人不在中の善光寺では、大勧進が全ての主導権を握ってしまいました。即ち、元文五年（1740年）四月以降、大本願の浄土宗十五坊は天台宗に改宗し、坊名を院名にかえされ、万事日光門主の支配下におかれ、明治維新後に浄土宗大本願に復帰することができました。先程、

何か恣意的なものを感じると述べましたのは、天台宗は徳川家康が厚く庇護していましたし、日光門主の支配下におくという沙汰も幕府の思惑があったのかなと考えるからです。しかし、明治維新の時代はみなさんもご存知のように、仏教にとっては受難の時期でありました。そうです、神仏分離、廢仏稀釈の嵐です。善光寺にとて例外ではなく、この嵐に巻き込まれ、大変厳しい状況におかれました。これをどう乗り切ったかはまたお話ししたいと思います。

《幹 事 報 告》

- 本日お配りしました先週3月2日の週報に訂正がございます。お手元で修正をお願いいたします。《幹事報告》の部分ですが、丸山永樹君の退会に関しまして「先程の例会で」とありますが、正しくは「先程の理事会で」ですのでよろしくお願ひいたします。
- 市内6RC幹事会報告
以前にご報告させていただきましたが、5月15日に市内6RC親睦ゴルフコンペが開催されます。受付7時30分、スタート8時35分です。大会要項がホストの長野RC様より提示されました。各RC参加者12名がベースとなっていますので、奮ってご参加をお願いいたします。4月21日までに事務局で取りまとめ報告することになっておりますので、またご案内をさせていただきますが、よろしくお願ひいたします。
- 誠に残念なことですが、先回の例会でも山川君のご異動を報告させていただきましたが、中部電力長野営業所長の降旗宏吉君

が、この度県内を統括する長野支店の営業部長さんとしてご異動されます。現在、後任の方の入会手続きをしていただいておりますが、また次週ご挨拶を頂戴したいと存じます。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 60名	30名	30名	50.00%
前々回 2月24日		訂正出席率	61.53%

《ニコニコボックス》

在籍賞：奥山 哲君

早退：篠原 寿人君

○ 本日卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします。 浮田 稔博君

○ 暖かい日と寒い日が激しく入れ替わり大変ですが、みなさんご自愛ください。

佐藤幹事

《本日のプログラム》

- 会員卓話 浮田 稔博君
「人口から見る世界経済」



《3月16日のプログラム》

- 会員卓話
柳澤 幸一君

《3月16日のメニュー》

- 和定食
 - ・サーモンたたき 桜鯛のお造り
 - ・豚角と野菜の焼き合せ
 - ・海老と野菜の天ぷら
 - ・筍ご飯 香の物
 - ・赤出し
 - ・いちごババロア いちご添え

= 次週例会予告 =

《3月23日のプログラム》

- 会員卓話
愛甲 宏明君

《3月23日のメニュー》

- 洋コース
 - ・鹿肉のカルパッチョ 香味野菜添え
 - ・メカジキの軽いスモーク オレンジ風味
 - ・ヨーグルトと苺のヴェリーヌ
 - ・パン、コーヒー